

豊かな海を 取り戻しませんか？

～あなたの知らない海の中～

河川や海にポイ捨てしたゴミは
漂流して海底に沈んで溜まっていきます。
見た目の海はきれいでも、
海底では魚の住めるところが減ってきています。
水産資源豊かな瀬戸内海を守って行きましょう。



海ごみについて…

- ・海ごみとは、海にあるごみのことで、漁業操業や海上交通に大きな影響を及ぼします。
- ・また、海岸に漂着したごみは景観を悪くします。これら海ごみは大きく3種類に分類され、その中でも海底ごみは普段ほとんど目にしないため、「目に見えない環境問題」と言われています。

海岸漂着ごみ



海面漂流ごみ



海底堆積ごみ



資料提供：四国地方整備局高松港湾・空港整備事務所

資料提供：公益財団法人 水島地域環境再生財団

- ・今回、鴨庄漁業協同組合では、小型機船底曳き網漁業禁止区域（志度湾）内の海底ごみの調査を行った。

海ごみの問題点…

鴨庄湾は、鴨部川の下流にあり、川からの栄養を恵みに、良好な魚の住処となっています。しかし、台風、大雨等で増水する川は、水だけでなく、草木の自然ごみ、また、川に不法投棄された人工ごみが大量に海に流れ込み、漁ができなくなるばかりでなく、稚魚の住処も奪ってしまいます。

その後、海底に沈んだ草木などは、分解のため酸素を必要とし、貧酸素状態を起こし、また、ナイロン、プラスチック等の人工ごみは、腐ることもなく海底に滞留し、海底環境を悪化させています。



平成23年9月 台風12号で白方漁港を覆うごみ



海浜の清掃をする組合員（平成23年9月）

これからの取組み…

沿岸域の魚を増やすためには、親魚が卵を産めるような環境、そして生まれてきた稚魚が育つような環境を作る必要があります。今後、鴨庄漁協では、そのような環境を守るために、海底環境の改善（海底ごみの回収、海底耕うん、覆砂など）を積極的に行い、魚たちが安心して暮らせる環境を作ることに取り組んでいきます。



イカの卵（資料提供：香川県水産試験場）



タナゴの稚魚（資料提供：香川県水産試験場）

開発した器具の説明…

禁止区域内の海底清掃のため、通常操業に使用する戦車こぎ網漁業用の桁に4節（目合い10cm）もしくは、5寸（目合い15cm）の袋網をつけた器具を用いることとしました。

網の目合いを大きくした理由は、小さな魚（稚魚）が網に掛かって傷まないようにするためにです。



戦車こぎ桁



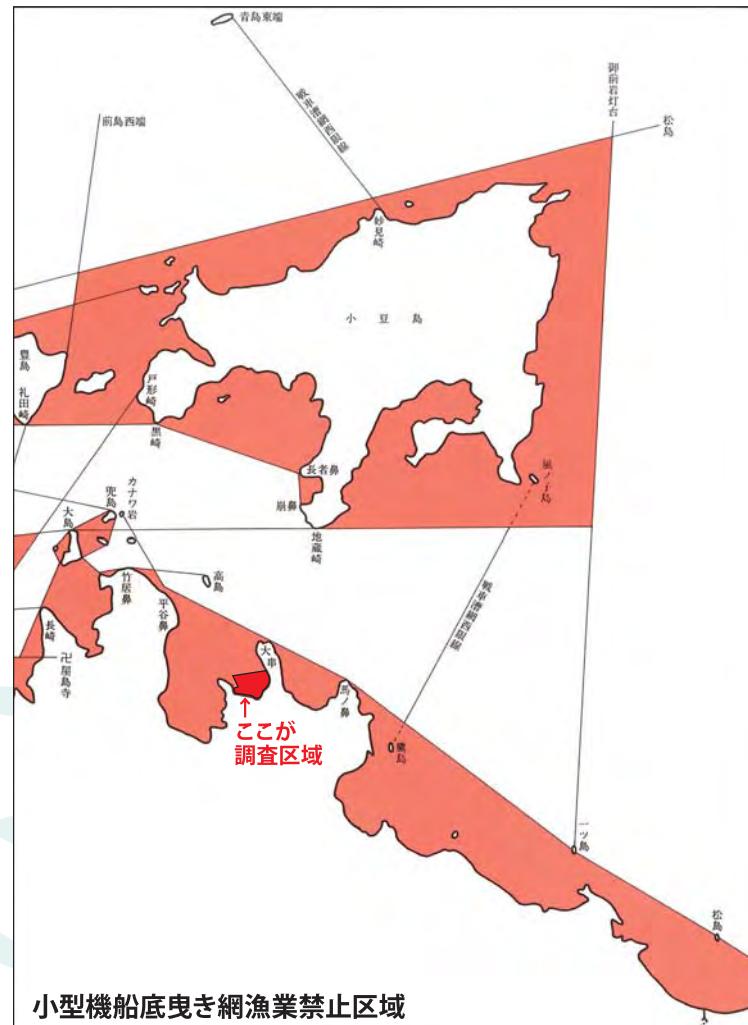
桁に掛かった海底ごみ

禁止区域（操業禁止区域）で ごみの回収を行うことになった経緯…

- ・日常的な操業が行われていないため、海底の状況が分からぬ?…
- ・稚魚育成等の目的で設定されている禁止区域であるのに、ごみがたまって逆に稚魚に影響を与えてるかもしれない?…
- ・今年は台風が多く、鴨部川から多くの人工ごみ、自然ごみが流出して、被害を受けたため、流出した多くのごみが志度湾内に沈んで、海底環境を悪化させているかもしれない?…



- ・そこで、今回操業禁止区域内での海底ごみの回収器具、回収方法の開発を行い、実際に開発した器具を使用し、海底ごみが回収できるか効果試験を行った。加えて、禁止区域内にどのようなごみが堆積しているかを調査した。



ごみの内訳…

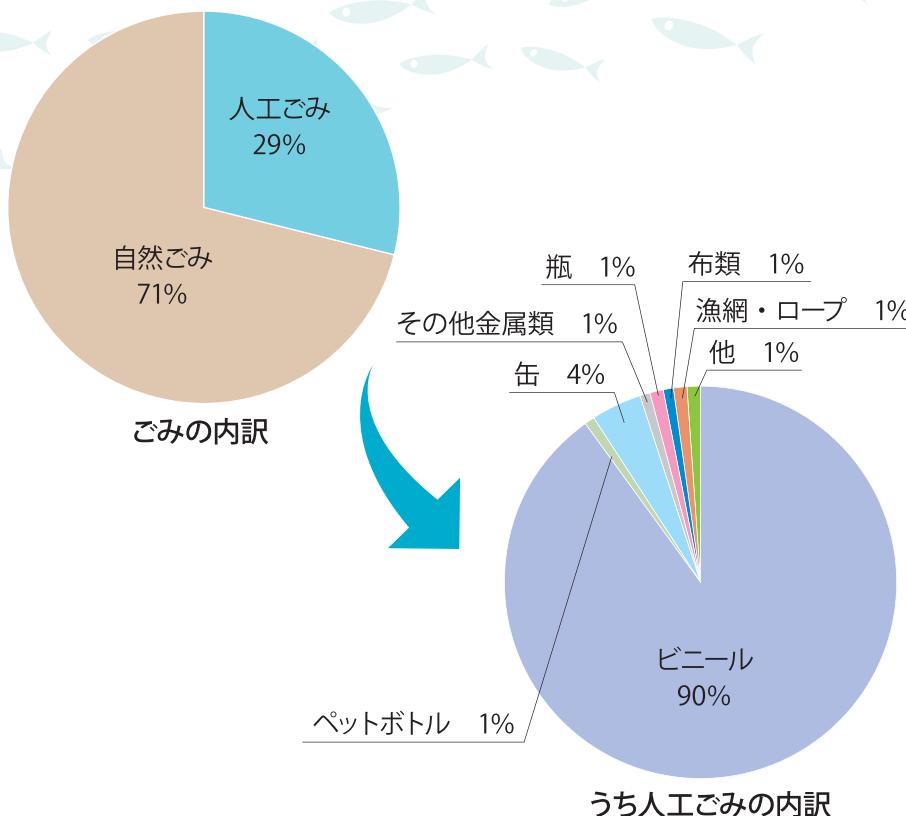
平成24年1月30日から平成24年2月16日までの内の10日間に、志度湾内で戦車こぎ網漁業のけたを使用して、海底ごみの回収調査を行いました。回収した海底ごみを調査した結果、人工ごみは20リットルごみ袋35袋分、体積で0.7m³回収できました。また、自然ごみは80リットルかごで22箱、体積で1.8m³回収できました。この人工ごみを種類ごとに分別し調査を行いました。その結果、全体で669個のごみがありました。

志度湾内では、自然ごみ71%、人工ごみ29%となり、自然ごみの方が多いことが分かります。

今年は、台風が多かったため、陸からのごみが多く流れてきており、それが海の底に堆積していることが分かります。

また、人工ごみについては、ビニールが最も多く、全体の約9割を占めていることが分かります。これら生活圏由来の人工ごみが多く回収されました。中には昔に漁業者が捨てたような漁網や回収できなかった蛸壺などの漁業系のごみもいくつか確認されました。

これからは、一般の人も漁師もごみを減らして、ともにきれいな志度湾を作り上げていくことが大切なことです。



●当冊子は、平成23年海岸漂着物等の発生抑制に係る海底ごみ対策事業（禁止区域）によって作成しました。

鴨庄漁業協同組合